



久保 貴洋 議員(蒼生会)

マラソン大会について

Q 第15回さのマラソン大会より新コースとした理由と目的を伺いたい。

A 市長

さのマラソン大会は、参加する方はもちろん、応援する方、ボランティアとして大会を支える方など、様々な繋がりと相乗効果により、地域を元気にする重要なスポーツ事業です。

この度、まちのシンボルとなる市役所新庁舎が完成したことを好機と捉え、栃木陸上競技協会を始めとする関係者と協議を重ね、抜本的な見直しを行い、大会の公認化とコース変更を決意しました。新庁舎をスタートとして、佐野、田沼、葛生地区の市全体を走り、陸上競技場をゴールとする走りやすいコースです。参加するランナーはもとより、多くの市民に喜んでもらえる大会となるよう、現在準備を進めています。参加者、来訪者の増加により、地域の活力を生み出し、まちの一体化と市のPRに効果を発揮できる、すばらしいさのマラソン大会を実施して、スポーツによるまちづくりを更に飛躍させる所存です。

その他の質問

☆インランドポートを核とした物流拠点整備について
☆あそ野学園開校に向けての取り組みについて



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

クリケットのまちづくりについて

Q 6月に佐野市国際クリケット場で開催された19歳以下ワールドカップ東アジア太平洋予選において、日本代表が優勝し、南アフリカで開催される本選に出場することが決定した。ワールドカップ本選出場は、本市のクリケットのまちづくりに大きな弾みになると考えるが、この好機を捉え、どのように盛り上げていく考えか。

A 観光スポーツ部長

クリケットのまちづくりを進める本市にとりまして大きな励みであり、喜びであると感じています。また、市民プレーヤーの本選出場は、クリケットのまちづくりを進める上で絶好の機会と捉えています。ワールドカップ本選は、来年1月から2月にかけて、南アフリカ共和国で開催されますので、この機を逃さず、本市から出場する選手の活躍を祈念して、例えば、垂れ幕を作成するなど、広く市民に周知する方策を検討し、実施していきたいと考えています。

その他の質問

☆中高年のひきこもり対策について



▲ U19クリケットワールドカップ東アジア太平洋予選で優勝した日本代表



小倉 健一 議員

佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画について

Q 学校が統合されることによって、子供を囲む地域コミュニティが大きく変わってくる。学校における働き方改革により、従来の業務を地域の方などにお願ひ、移行、調整する部分においては、様々な環境変化を想定すべきだと思いが、市の見解は。

A 教育長

地域による学校の応援団として、地域学校協働本部を立ち上げて多くのボランティアの方々にご協力をいただけるような体制づくりを進めています。新設のあそ野学園義務教育学校には、ボランティアの方々の控室も準備しています。更に、その地域の応援団の中で取りまとめをしていただく地域応援団、学校応援団の柱となっていくことも、開校に向けて、今人選を進めており、近々、開校準備委員会学校支援部会が開かれる予定です。

その他の質問

☆佐野市の災害対策について
☆高齢運転者の安全装置搭載車購入費用の助成制度の実現について

